

広域紋別病院改革プラン
点検・評価報告書
(令和 2 年度)

令和 3 年 12 月

広域紋別病院企業団

1 はじめに

広域紋別病院は、地域における基幹的な公立医療機関として、地域医療の確保のため重要な役割を果たしていますが、毎年度、収支不足等のため多額の基金繰入を行っており、また昨今のコロナ禍の影響もあり、将来的には大変厳しい経営状況になることが見込まれます。

このような状況のなか、平成 27 年 3 月、国は「新公立病院改革ガイドライン」を示し、公立病院に対し、都道府県が策定する「地域医療構想」と整合性を図りながら、「新公立病院改革プラン」を策定することを求めており、当企業団においても「広域紋別病院改革プラン」（以下「改革プラン」という。）を策定し、平成 29 年度から令和 2 年度までの 4 年間で、段階的に経営改善に取り組む内容となっております。

今回、令和 2 年度の決算を受けて改革プランの点検と自己評価を行ったことからその結果について公表します。

2 改革プランの実現に向けた令和 2 年度の取組

（1）地域包括ケアシステムの構築に向けて

- 急性期治療を経過し、病状が安定した患者に対し、在宅や介護施設への復帰に向け医療や支援を行う地域包括ケア病床を、平成 29 年 6 月から 20 床に増床しています。令和 2 年度は、患者数が 4,299 名（前年比 398 名増）、収益が 123,276 千円（前年比 15,819 千円増）となりました。

令和 2 年度は、地域のニーズに応じた訪問診療などの在宅医療を開始しており、今後も環境整備をより一層推進していきます。

- がん、脳卒中などの医療ニーズが高い疾病については、病気予防や早期発見による治療の機会を提供するため、令和元年 7 月より『肺がん CT 検診』と『お手軽脳ドック』を開始しています。地域の医療機関で、CT や MRI などの専門的機器を使った検査を受けることができ、令和 2 年度も継続して医療資源の効率的活用と地域医療水準の向上に努めています。

（2）一般会計における経費負担の考え方

- 病院事業は、公営企業に位置づけられ独立採算性を原則としますが、採算性が困難な経費について、自治体の一般会計が負担すべきものと地方公営企業法に定められています。また、地域の医療機関が行っていない診療科については、隣接する圏域への通院が困難なことから、外来診療を実施する経費についても一般会計の繰入を受ける必要があります。

これまで、一般会計の繰入は交付税措置額を主とし、繰入後の収支不足については基金を補てんしていますが、上記の政策医療経費及び病院改築による多額の減価償却費により、基金の取崩しが多額となっています。令和 2 年度は、コロナ禍の影響もあり、紋別市単独の政策医療経費や医師確保対策経費に対する繰入など、病院事業収益にて 772,529 千円が繰入（前年度比 156,247 千円増）されました。

- 赤字縮小に向けた取組は、改革プラン期間 4 年間にて医療機器保守の見直しや医事業務委託の包括化などの病院運営業務委託の見直し等を主として行ったことにより、改革プラ

ン開始前である平成 28 年度と比較し、10,000 千円超の経費縮減が図られました。

経費縮減額(R2 - H28 比較)

経費全体での縮減額	10,813 千円
うち 委託契約等見直し	58,821 千円

(3) 医療機能等指標に係る数値目標

	R1 年度 実績 a	R2 年度					
		計画 b	実績 c	前年差 c - a	計画差 c - b	計画 達成率	評価
時間外救急 患者数 (人)	1,000	1,244	908	△92	△336	73.0	C
手術件数 (件)	305	340	342	37	2	100.6	A
紹介率 (%)	9.35	14	12.18	2.83	△1.82	87.0	C
逆紹介率 (%)	17.9	4.8	21.0	3.1	16.2	437.5	A
リハビリ件 数 (件)	10,719	8,030	10,626	△93	2,596	132.3	A
分娩件数 (件)	41	40	40	△1	0	100.0	B
人工透析施 術件数 (件)	7,714	7,770	7,580	△134	△190	97.6	B
健康診断受 診者数 (人)	2,507	2,950	2,537	30	△413	86.0	C

【評価の方法】 A：計画を上回った（達成率 100%を超える）

B：概ね計画どおり（達成率 90%を超えて 100%以下）

C：計画を下回った（達成率 90%以下）

◇ 手術件数は、外科、整形外科の手術件数が前年より増加しました。

◇ 紹介率は、他院から当院への紹介患者数が増加したことで上昇し、逆紹介率も増加しました。

地域の医療機関等から紹介患者を受け入れる『前方連携』は、地域センター病院として重要な機能であり、医師と保健医療連携室が一体となって他院と連携強化をすることが必要であります。

平成 31 年 4 月には患者の受け入れ体制を整備するため、午後外来の新設と総合診療科及び循環器内科を統合し、内科として診療を開始しており、令和 2 年には内科常勤医師が 3 名着任するなど診療体制の強化に努めております。

◇ 分娩件数は、令和 2 年度も前年度に引き続き 1 年をとおして産婦人科の診療体制を確保できたものの、前年とほぼ同等の件数となりました。

◇ 人工透析実施件数は、担当医療従事者の不足等により、地域ニーズが多いものの対応が困難であり減少となりました。今後については、地域全体で連携して対応することを考慮していく必要があります。

◇ 令和元年7月より『肺がんCT検診』と『お手軽脳ドック』を開始しており、令和2年度も継続して実施したことから、コロナ禍の状況でも健康診断受診者数の増加となっています。

（４）住民の理解

住民の医療・病院への正しい理解、健康増進を図ることを目的に、健康講座などを例年開催しておりますが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため令和2年度は開催を断念いたしました。今後の取組としては、新型コロナウイルス感染症の感染収束後に、健康講座やゆる元体操の実施等を行い、住民の皆様の健康増進を改めて図っていきます。

3 経営指標に係る数値目標

(1) 収支改善に係るもの

① 経常収支比率 ～ 経常収益／経常費用、高い方が望ましい

	R1年度	R2年度					
	実績 a	計画 b	実績 c	前年差 c－a	計画差 c－b	計画 達成率	評価
経常収支比率 (%)	100.0	99.7	99.9	△ 0.1	0.2	100.2	A

医業外収益のコロナ病床確保に係る補助金の繰入等により、税込で病院事業収支の均衡を図っていることから、概ね計画どおりとなった。

② 医業収支比率 ～ 医業収益／医業費用、高い方が望ましい

	R1年度	R2年度					
	実績 a	計画 b	実績 c	前年差 c－a	計画差 c－b	計画 達成率	評価
医業収支比率 (%)	57.6	72.6	57.4	△ 0.2	△ 15.2	79.1	C

医業収益はコロナ禍の影響を受けながら増加（入院収益増加・外来収益減少）したものの、医業費用も増加（給与費・材料費・経費とも増加）したことから、前年度の比率を下回り、計画も大きく下回った。

③ 修正医業収支比率 ～
（医業収益－他会計繰入金）／{医業費用－（減価償却費＋過去分退職給付費）}、
高い方が望ましい

	R1年度	R2年度					
	実績 a	計画 b	実績 c	前年差 c－a	計画差 c－b	計画 達成率	評価
修正医業収支比率 (%)	66.2	82.6	65.1	△ 1.1	△ 17.5	78.8	C

医業収益はコロナ禍の影響を受けながら増加（入院収益増加・外来収益減少）したものの、医業費用も増加（給与費・材料費・経費とも増加）したことから、前年度の比率を下回り、計画も大きく下回った。

(2) 経費削減に係るもの

① 職員給与費対医業収益比率 ～ 職員給与費／医業収益、低い方が望ましい

	R1年度	R2年度					
	実績 a	計画 b	実績 c	前年差 c－a	計画差 c－b	計画 達成率	評価
職員給与費対医業 収益比率 (%)	95.6	70.6	97.0	1.4	26.4	72.8	C

医業収益は増加したものの、診療体制確保のために常勤医師及び非常勤看護師等を増員したことから、職員給与費は医業収益増加額以上に増加した。そのため、前年度より比率が高くなっており、計画値も下回った。給与費の硬直性から更なる医業収益の増収が求められる。

② 材料費対医業収益比率 ～ 材料費／医業収益、低い方が望ましい

	R1年度	R2年度					
	実績 a	計画 b	実績 c	前年差 c－a	計画差 c－b	計画 達成率	評価
材料費対医業収益 比率 (%)	21.9	23.4	22.0	0.1	△ 1.4	106.4	A

患者数は減少（入院患者数増加・外来患者数減少）したが、入院収益単価の増加等により、医業収益は増加している。材料費は増加したものの医業収益増加により、前年度と比率は同率となり、計画値も達成した。

(3) 収入確保に係るもの

① 1日平均入院患者数

	R1年度	R2年度					
	実績 a	計画 b	実績 c	前年差 c - a	計画差 c - b	計画 達成率	評価
1日平均入院患者数（人）	70.6	105.1	73.1	2.5	△ 32.0	69.6	C

コロナ禍の影響を受けたものの総合診療科・整形外科・循環器内科で延患者数が増加。令和2年度は4月に整形外科の常勤医師1名増となっており、令和元年度からの内科診療体制の充実により患者数は前年度より増加したものの、計画値は下回った。

② 1日平均外来患者数

	R1年度	R2年度					
	実績 a	計画 b	実績 c	前年差 c - a	計画差 c - b	計画 達成率	評価
1日平均外来患者数（人）	319.8	399.7	296.0	△ 23.8	△ 103.7	74.1	C

循環器内科・外科・整形外科で延患者数が増加。令和2年度4月に整形外科に常勤医師1名が着任し患者数増加に繋がったものの、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響から診療制限等を実施したこと、受診控え等により、外来患者数の合計では減少したことから、計画値を大きく下回った。なお、令和元年度より『午後外来』を実施しており、突然起こった不調の方に対し応急処置の診療を継続して行っていることにより午後突発の体調不良を起こした患者様の受け皿としての機能を引き続き担っている。

(4) 経営の安定性に係るもの

① 医師数 ～ 常勤医師年度末職員数、企業長除く

	R1年度	R2年度					
	実績 a	計画 b	実績 c	前年差 c - a	計画差 c - b	計画 達成率	評価
医師数（人）	17	20	18	1	△ 2	90.0	C

整形外科の常勤医師1名が令和2年度中に着任し、前年度比1名増となった。計画値は下回ったものの着実に常勤医師数の増加が図られている。令和3年4月に内科常勤医師1名および眼科常勤医師1名が着任したが、引き続き常勤医師招へいに努める。

② 看護職員数 ～
常勤看護師、臨時看護師、派遣看護師、看護助手及び療養介助員の年度末職員数

	R1年度	R2年度					
	実績 a	計画 b	実績 c	前年差 c - a	計画差 c - b	計画 達成率	評価
看護職員数（人）	111	123	108	△ 3	△ 15	87.8	C

看護職員数が前年度より減少し、計画を下回った。常勤医師数が増加していることから、看護職員数の増加が地域医療確保のために欠かせない状況。令和元年度からは任期付採用制度を導入していることから、雇用形態や採用条件を柔軟に対応することで引き続き人員確保に努める。

【評価の方法】

- A：計画を上回った（達成率100%を超える）
- B：概ね計画どおり（達成率90%を超えて100%以下）
- C：計画を下回った（達成率90%以下）

4 収支計画

(1) 収益的収支

(単位：百万円、%)

区 分			年 度	R1年度 実績 ①	R2年度					
					計画 ②	実績 ③	前年差 ③-①	計画差 ③-②	計画 達成率	
収入	1. 医 業 収 益		a	2,013	2,646	2,059	46	△ 587	77.8	
	(1) 料金収入			1,881	2,519	1,916	35	△ 603	76.1	
	入院収益			1,006	1,400	1,057	51	△ 343	75.5	
	外来収益			875	1,119	859	△ 16	△ 260	76.7	
	(2) その他			132	127	143	11	16	112.8	
	うち他会計負担金			74	74	77	3	2	103.0	
	2. 医業外収益			1,607	1,117	1,678	71	561	150.2	
	(1) 他会計負担金			343	134	506	163	372	377.6	
	(2) 他会計補助金			948	743	208	△ 740	△ 535	28.0	
	(3) 国(道)補助金			11	4	683	672	679	16,998.5	
	(4) 長期前受金戻入			277	215	254	△ 22	40	118.4	
	(5) その他			28	21	27	△ 1	6	130.3	
	経 常 収 益		(A)	3,620	3,763	3,737	117	△ 26	99.3	
	支出	1. 医業費用		b	3,495	3,644	3,588	93	△ 57	101.5
(1) 職員給与費		c	1,924	1,869	1,997	73	128	93.2		
(2) 材料費			440	620	452	12	△ 167	127.1		
(3) 経費			605	657	624	20	△ 33	105.0		
(4) 減価償却費			511	487	506	△ 5	19	96.1		
(5) その他			15	12	8	△ 6	△ 4	130.4		
2. 医業外費用			126	129	151	25	21	83.1		
(1) 支払利息			3	4	0	△ 3	△ 4	196.2		
(2) その他			123	125	151	28	25	79.5		
経 常 費 用		(B)	3,621	3,774	3,739	118	△ 35	100.9		
経 常 損 益 (A)－(B)			(C)	△ 1	△ 11	△ 2	△ 1	9	181.8	
特別損益		1. 特別利益		(D)	10	18	10	0	△ 7	57.1
		うち基金収入補助金			0	0	0	0	0	－
		2. 特別損失		(E)	17	22	22	6	1	97.0
	特 別 損 益 (D)－(E)		(F)	△ 7	△ 4	△ 12	△ 5	△ 8	△ 76.4	
純 損 益 (C)＋(F)				△ 8	△ 15	△ 14	△ 6	1	108.7	
基金収入補助金を除いた純損益				△ 756	△ 668	△ 32	724	636	195.2	
累 積 欠 損 金 (G)				0	0	0	0	0	－	
不良債務	流 動 資 産 (ｱ)			996	1,023	1,128	132	105	－	
	流 動 負 債 (ｲ)			494	443	510	15	66	－	
	うち一時借入金			0	0	0	0	0	－	
	うち未払金			167	137	171	4	34	－	
	翌年度繰越財源 (ｳ)			0	0	0	0	0	－	
	当年度同意等債で未借入又は未発行の額 (ｴ)			0	0	0	0	0	－	
	差引	不良債務 {(ｲ)-(ｴ)}-{(ｱ)-(ｳ)}	(ｵ)	－	－	－	－	－	－	
	経常収支比率		$\frac{(A)}{(B)}$	100.0	99.7	99.9	△ 0.1	0.2	100.2	
	不良債務比率		$\frac{(ｵ)}{a}$	－	－	－	－	－	－	
	医業収支比率		$\frac{a}{b}$	57.6	72.6	57.4	△ 0.2	△ 15.2	79.0	
職員給与費 対医業収益比率		$\frac{c}{a}$	95.6	70.6	97.0	1.4	26.4	62.7		
地方財政法施行令第15条第1項 により算定した資金の不足額 (H)				－	－	－	－	－	－	
資金不足比率		$\frac{(H)}{a}$	－	－	－	－	－	－	－	
病 床 利 用 率				47.7	71.0	48.8	1.1	△ 22.2	68.7	

(2) 資本的収支

年 度 区 分		R1年度 実績 ①	R2年度				
			計画 ②	実績 ③	前年差 ③-①	計画差 ③-②	計画 達成率
収 入	1. 企業債	50	13	91	41	78	731.2
	2. 他会計出資金	0	0	0	0	0	-
	3. 他会計負担金	119	43	114	△ 5	71	264.7
	4. 他会計借入金	15	4	27	12	24	731.2
	5. 他会計補助金	0	0	0	0	0	-
	6. 国(道)補助金	0	0	73	73	73	-
	7. 工事負担金	0	0	0	0	0	-
	8. 固定資産売却代金	0	0	0	0	0	-
	9. その他	3	0	0	△ 2	0	-
	収 入 計 (a)	187	60	306	119	246	510.0
	うち翌年度へ繰り越される (b) 支出の財源充当額	0	0	0	0	0	-
	前年度同意等債で当年度借入分 (c)	0	0	0	0	0	-
	純計(a)－{(b)＋(c)} (A)	187	60	306	119	246	510.0
	支 出	1. 建設改良費	103	25	267	164	242
2. 企業債償還金		203	128	129	△ 74	1	99.1
3. 他会計長期借入金返還金		98	100	100	2	0	100.0
4. その他		13	13	12	△ 1	△ 2	111.5
支 出 計 (B)		417	266	507	90	241	9.3
差 引 不 足 額 (B)－(A) (C)		230	206	201	△ 29	△ 5	102.4
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	201	184	157	△ 44	△ 27	114.7
	2. 利益剰余金処分額	0	0	0	0	0	-
	3. 繰越工事資金	0	0	0	0	0	-
	4. その他	28	22	44	16	22	△ 0.2
	計 (D)	230	206	201	△ 29	△ 5	102.4
補てん財源不足額 (C)－(D) (E)		0	0	0	0	0	-
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)		0	0	0	0	0	-
実質財源不足額 (E)－(F)		0	0	0	0	0	-

(3) 一般会計からの繰入金の見通し

	R1年度 実績 ①	R2年度				
		計画 ②	実績 ③	前年差 ③-①	計画差 ③-②	計画 達成率
収 益 的 収 支	(4) 616	(5) 298	(7) 738	3 122	(2) 440	(129.5) 247.4
資 本 的 収 支	(15) 134	(13) 46	(0) 141	(△ 15) 7	(△ 13) 95	(0.0) 307.4
合 計	(19) 750	(18) 344	(7) 880	(△ 12) 130	△ 11 535	(38.9) 255.4

※ () 内は基準外繰入金額

(4) 基金からの繰入金の見通し

	R1年度 実績 ①	R2年度				
		計画 ②	実績 ③	前年差 ③-①	計画差 ③-②	計画 達成率
収 益 的 収 支	748	653	18	△ 730	△ 635	197.2
資 本 的 収 支	0	0	0	0	0	-
合 計	748	653	18	△ 730	△ 635	197.2